

JSCA 千葉 ニュース (夏)

発行 (社) 日本建築構造技術者協会 JSCA千葉 (広報委員会)
〒260-0854 千葉県千葉市中央区長州1-14-1 LM千葉県庁前207 TEL 043(221)5131
飯島建築構造事務所内 FAX 043(221)5133

特集 第2回通常総会盛況の うち開催される

記念講演は矢野先生による、注目話題！
「性能設計のあり方と今後」

去る6月1日(火) JSCA千葉の第2回通常総会がバーデイホテルで開催された。総会に先立ち、午後二時半より矢野克巳先生による記念講演が行われた。



講演会場は満席となる

演題として建築業界では現在最も関心の高い話題の一つである「性能設計のあり方と今後」を選ばれた効果もあり、会員外・来賓を含み、56名の聴講者数を数えた。

今後の構造設計は社会的にも、より期待される職能になりつつあるようである。(安田)

振動部会発足のお知らせ

紙上耐震委員会 (実名ですが内容は創作です)

安田：性能設計に移行するとやがて振動解析の技術が必要ですね。

相山：高層では免震、制震建物が主流となりつつあるので勉強は不可欠でしょう。耐震建物にしても実は必要なんですよ。

安田：易しい勉強なら好きなのですが...。i ω t でもう嫌気がさします。数学力がなくて聴くだけと言う感じがします。すぐ基会所にいっちゃうんで。もういけないのかしらネ。

西澤：プログラマーもソフトを発売しています。前にやったことがありますので若干の資料はおくばりできますけど。

佐藤：今は基礎知識のまわりをぐるぐるめぐりしているのが現状です。減衰といってもバリエーションがあって。それに安田さんほどではないけれど、すぐ飲みにいっちゃうんで。

もう、一生いけないのかしら。

相山：一生いくのやめたら？僕は飲まないから平気です(笑)。

前からの尽力から発起人は西澤さんにして部会を立ち上げましょう。先々は、先生に御指導願うにしても、例題を解いてゆくような実務的な仲間うちの勉強ができればと思います。

西澤：任せなさい。(きっぱり)

ということで、紙上耐震委員会の中で振動部会が立ち上がってしまいました。技術向上のため、参加される方を募ります。世話



二次会風景

平成11年度JSCA千葉世話人会議事録抜粋

| 世話人会 | 第2回 5月10日 (18:00~ :) | 第3回 7月14日 (18:00~20:00) |
|-------|-------------------------|----------------------------|
| 代表 | 飯島 宏治 | 出席、飯島代表他7名 |
| 総務委員会 | 向後 勝弘 | 出席、飯島代表他5名 |
| 会員委員会 | 相山 誠治 | 1) 第2回総会・記念講演会・懇談会の準備 |
| 研修委員会 | 青木 光年 | 2) その他 |
| 広報委員会 | 細川 正三 | |
| 耐震委員会 | 真崎 雄一 | |
| | 舩田 卓也 | |
| | 齊藤美佐男 | |
| | 市原 嗣久 | |

日本大学船橋校舎における免震改修の見学会開催

大成建設の免震レトロフィット

5月27日(木)日本大学船橋校舎3号館の免震改修工事の見学会が大成建設(株)主催のもと行われた。本工事は地上4階建て地下1階延べ面積約3,000㎡の校舎の地下部分に免震装置取り付けるといふもので、JSCA千葉も見学会に参加した。



免震装置が取り付けられた柱

大成建設耐震推進部の説明によれば、ドライエリアを有する本建物の特徴が工事の有効性をまし、効果的な補強ができたということである。

本誌は季刊とし年4回の発行を目標としてJSCA千葉の活動状況を報告してゆく予定です。皆様の声を反映させるべく、ご意見ご要望をお待ちしています。(広報委員会)

日本大学中西助教授の司会のもと、安達教授の開会挨拶があり、(株)青木建設研究所の北嶋博士による「制震補強技術の現状」、大成建設(株)耐震推進部の河村博士による「免震補強技術の現状・免震工事の概要」の二講演が行われた。

特に、制震ダンパの研究には専門的な質疑応答が交わされた。閉会は、千葉工業大学の石橋教授が、ユーモラスに締め括られた。



免震・制震耐震補強の講演会・見学会開催さる

7月24日(土)日本大学船橋校舎13号館で(社)日本コンクリート工学協会関東支部の主催により講演会・見学会が開催された。JSCA千葉会員



もささやかながら受付のお手伝いをし、123名の各方面の出席を得た。

コラム

ある文章に「私達の所属する日本の建築業界は未曾有の不況の中にあり構造技術者にとっても職能を賭けた試練にさらされています。」と書きましたが、後で、「職能を発揮しようのない試練にさらされています。」としたほうが素直で分かりやすいのではと考えました。

「職能を賭けた」つまり職業生命と職業能力を賭け

て、不景気の時こそ他人に無い自身の経験、特技、能力を社会の為、人の為に発揮すべき、と言外に含ませたつもりでした。しかし肝心の仕事が出来なければ能力の発揮もしようがないではないか!

・・・ところで「職能」って何でしたっけ?・・・

「暇だからそう言うことを延々と考えるのだ!」と言われればそれまでですが。

(真崎)

平成11年JSCA千葉耐震委員会議事録抜粋(定例月1回)

| 耐震委員会 委員長 市原 嗣久 | 第15回 4月28日 (16:00~18:00) | 第16回 5月27日 (13:00~16:30) | 第17回 6月23日 (16:00~18:00) | 第18回 7月28日 (16:00~18:00) |
|--------------------|---|---|--|---|
| | 出席、市原委員長他9名 1)5月27日に行われる免震レトロフィット見学会の協力事項について 2)その他 | 出席、耐震委員会メンバー9名他JSCA千葉より多数参加 日本大学船橋校舎免震レトロフィット補強見学会 | 出席、市原委員長他6名 1)7月24日に行われる既存コンクリート建物の耐震補強技術の最近の動向講習会の協力事項について 2)振動解析についての一般的話し合い | 出席、市原委員長他6名 1)耐震補強ブレース免震レトロフィット等の外付け補強の評定、特許工法にどのように対応するか。 |